

世界農業遺産について

アンケート調査の概要

《目的》 世界農業遺産の今後の事業推進のための基礎資料収集

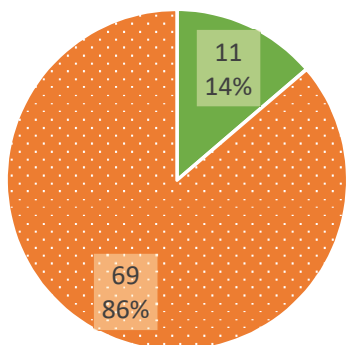
《概要》 【対象者】県政モニター154人 【方法】対象者に対し郵送等で配布、回収

【時期】令和3年11月 【回答者数】80人(県内62人、県外18人)・回答率:51.9%

アンケート調査の結果

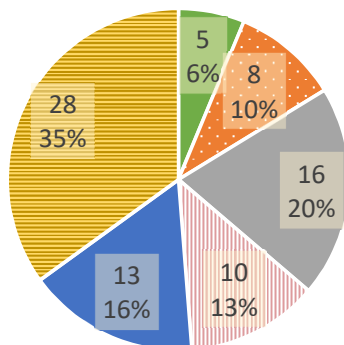
◆ お住まいの市町村

■ 認定地域内 ■ 認定地域外



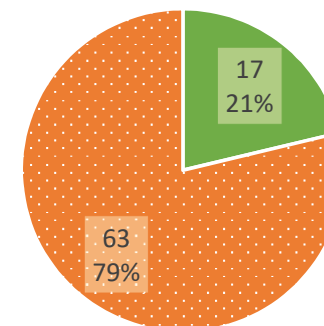
◆ 年齢

■ 20代以下 ■ 30代 ■ 40代
 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上



◆ 農林水産業(1次産業)に従事していますか。

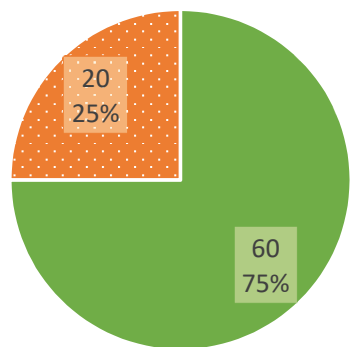
■ はい ■ いいえ



世界農業遺産について

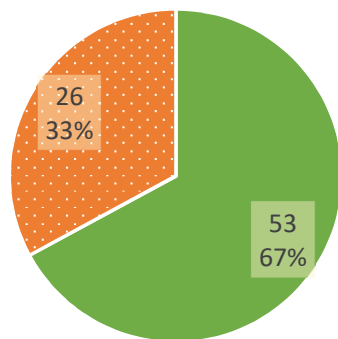
◆「世界農業遺産」という言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。

■ はい ■ いいえ



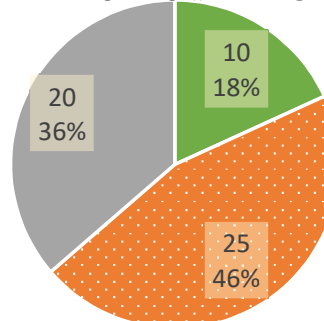
◆国東半島宇佐地域が「世界農業遺産」に認定されていることを知っていますか。

■ はい ■ いいえ



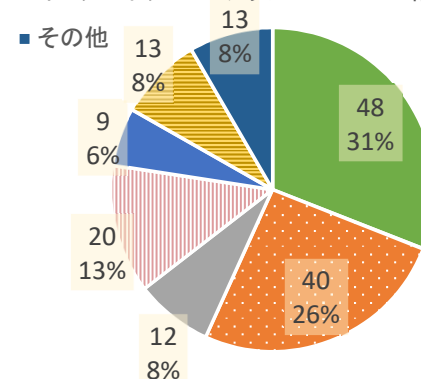
◆前問が「はい」の方。どの程度知っていますか。

■ よく知っている
■ ある程度知っている
■ なんとなく知っている

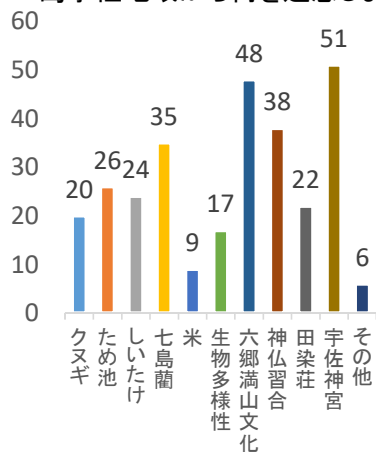


◆世界農業遺産の報道・ニュースを見た媒体

■ テレビ ■ 新聞 ■ ラジオ
■ インターネット ■ チラシ ■ 雑誌
■ その他

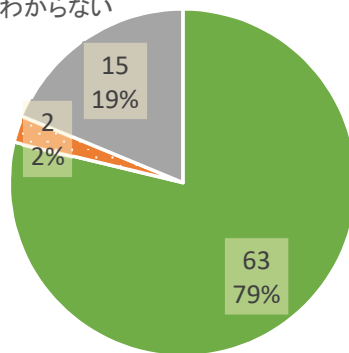


◆世界農業遺産に認定された国東半島宇佐地域から何を連想しますか。



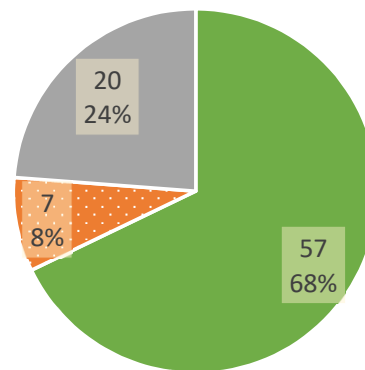
◆世界農業遺産の認定を誇りに思いますか。

■ 誇りに思う ■ なんともしらない
■ わからない

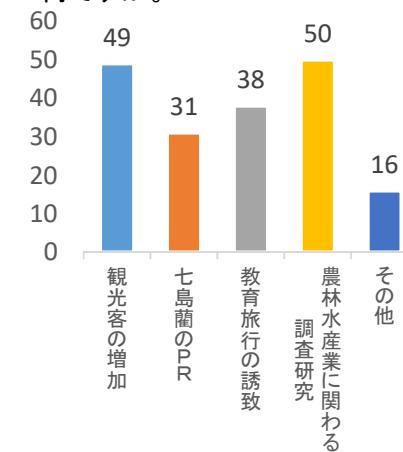


◆世界農業遺産の認定は地域の活性化につながるとおもいますか。

■ そう思う ■ 思わない ■ わからない



◆世界農業遺産に期待するものは何ですか。



『世界農業遺産』に期待するもの」自由記述

- 地域の産業としての農業を広く伝える取り組みのきっかけになれば良いのでは。
- 古くから農業者が自ら守り営んできたことが世界農業遺産として認められた。世界農業遺産は地域の誇りであり、農業者のみでなく地域の財産として、行政が主体となってそれらの遺産の管理や継承に関与していく(例えば、費用負担)必要があると思います。
- 大分の特産である椎茸がこのような豊かな自然のくぬぎ林やため池がある国東で栽培されていることや昔の田んぼを維持しながら栽培している田染の荘園米など寺社観光に加えて世界農業遺産の意義を広く理解してもらうことを期待します。
- 農業の魅力を若者へ
- せっかくPRするモノはあるのだからもっと観光客を呼べるツアーや、宿泊施設、交通利便性に力を入れていいと思う。
- 残るものはそれほど力を入れて伝え守らなくても残る。農業遺産を永年残していくことが負担にならないようにアップサイクルな取り組みができると良いと思います。現在も取り組んでいるかもしれませんが、教育旅行等の一部で遺跡保全活動体験学習というのはどうでしょうか？林道の整備、落ち葉はき、農地の草取り等の清掃。農業と自然と文化と生活の融合と成長。
- 宇佐市にあるため池の多くが、長峰地区と天津地区に集まっており、ため池が約50カ所はございます。ため池の景色は風情があり、室町時代から作られて始めたため池には歴史があります。また東九州自動車道が建設される際にため池への道路網が整備されております。よって観光地にして観光客を呼び込むことが良いと思います。
- この遺産を通しての環境保全の推進
- 地産地消の料理、次世代への農林水産業への楽しさ、大事さへの教育、PR
- 地域の活性化に繋がるかどうかは、地域の人々の努力と意欲によると思う
- 子供たちが誇りに思い、後継者が出てくること
- 自分達が農業していて、前は大きい声で言えなかったが、今では立派な職業だと胸を張っています。世界農業遺産は大いに広めてほしいです。
- 環境保存
- 農林業の整備事業
- 先人の無言の足跡を誇りと併せて、どう根付かせるか？と考える
- 世界農業遺産事業に関心を持ち始めること。今インターネットにて調べ始めました。ビックリして農林水産省の紹介を読み始めました。面白いです。スゴイですね。